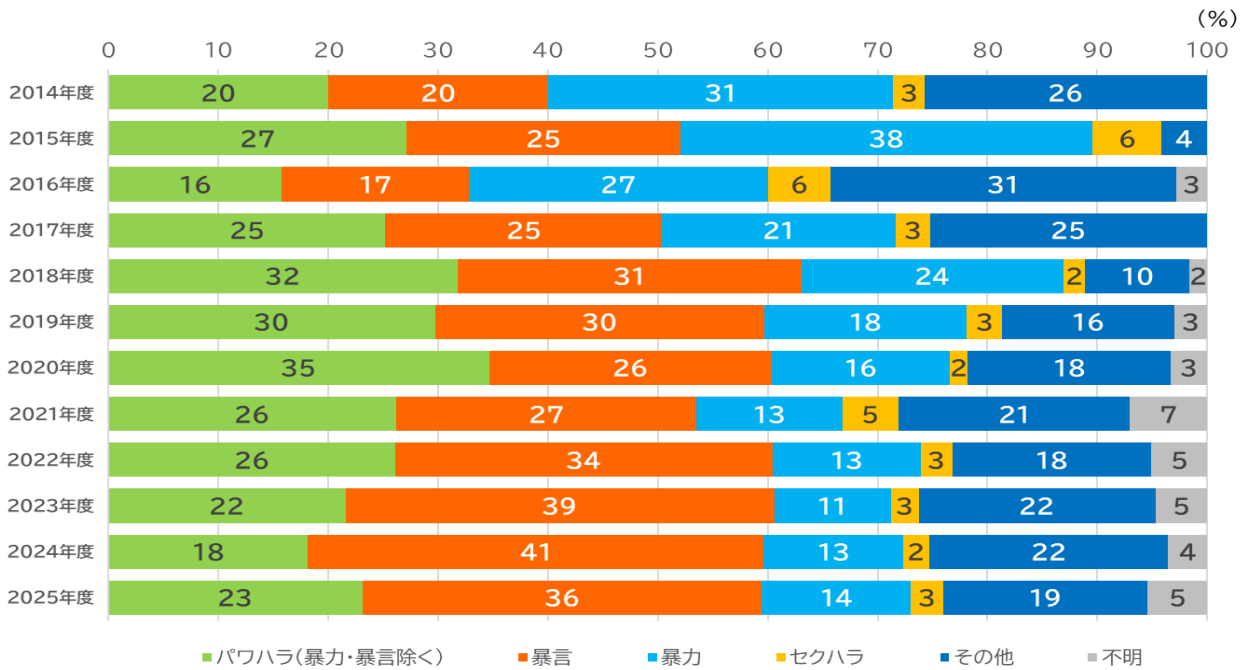


◆相談内容内訳割合の年度別推移

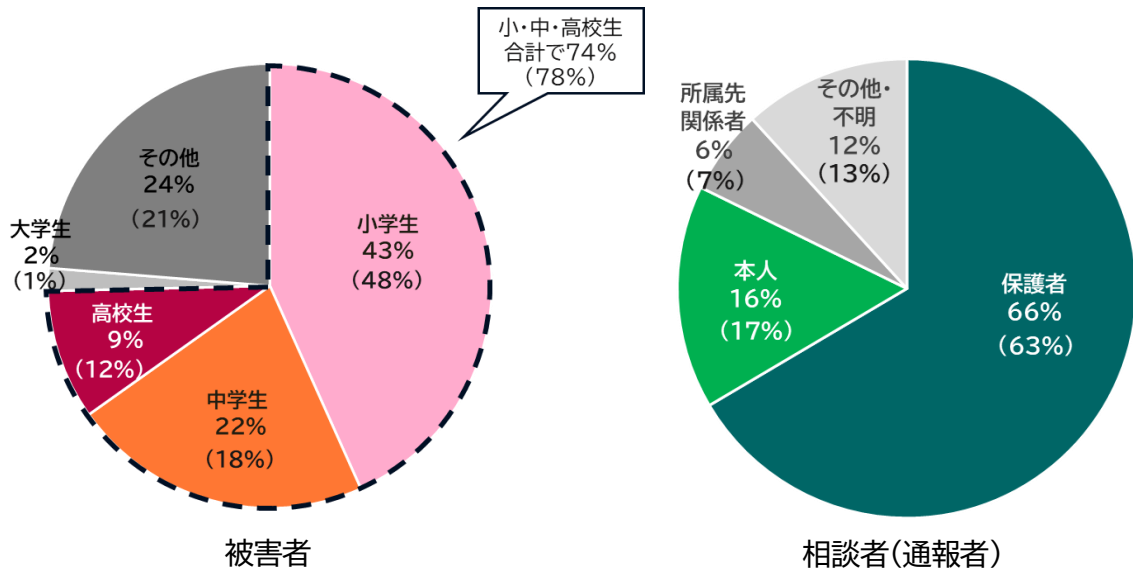
相談窓口 URL: <https://www.japan-sports.or.jp/cleansport/tabid1354.html>



※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはなりません。

JSPO「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」(以下、「相談窓口」という。)に、実際に寄せられた相談の内容としては、「バカ、アホ、下手くそ、消えろ、お前なんか知らない」といった暴言、「叩く、蹴る、胸ぐらをつかむ、物を投げつける」といった暴力、「指導者が選手に対して威圧的な指導を行う、練習や大会に参加させてもらえない、無視される」といったパワー・ハラスメント(暴力・暴言除く)などがありました。

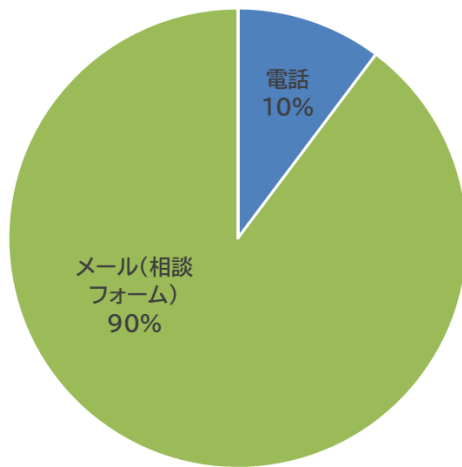
◆被害者および相談者(通報者)の内訳



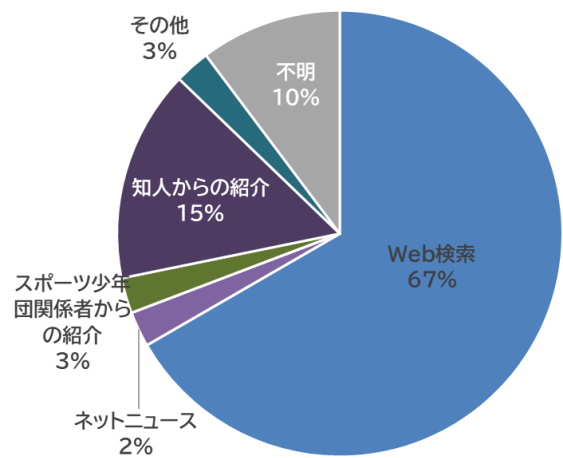
※円グラフ内の括弧で記載している数値は 2024 年度の数値です。(以下同様)

◆「子ども向け相談窓口」に寄せられた相談の概要

子ども向け相談窓口 URL:<https://www.japan-sports.or.jp/cleansport/tabid1363.html>



相談方法

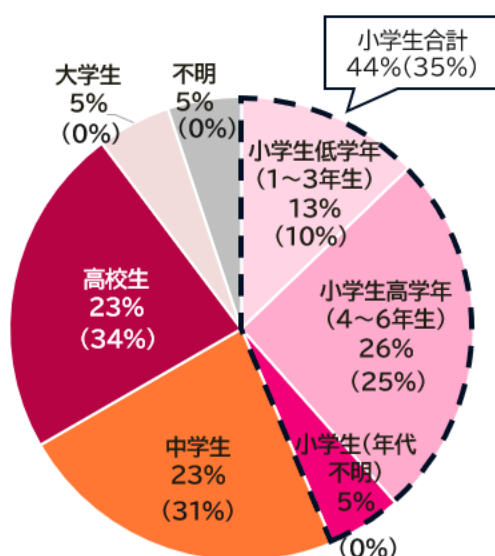


検索方法

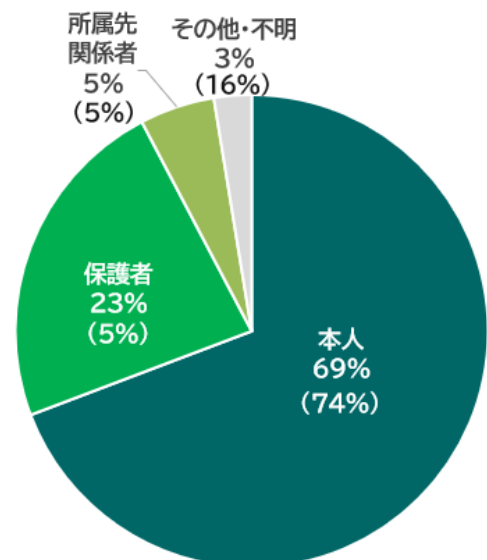
【相談するにあたり Web で検索したキーワード(抜粋)】

小学生 第三者委員会/スポーツ虐待/指導者 辞めさせる方法/暴言 坊主 スポーツ 相談/暴力 相談 窓口/パワハラ コーチ 相談/部活動 指導者 訴える/いじめに使う/日本スポーツ協会/小学生 暴言 クレーム 連絡先/スポハラ/相談窓口/監督 暴力/スポハラとは/監督 資格/高校顧問暴言相談/暴言 スポーツ少年団/スポーツ 暴力 出場停止/スポーツ 指導 暴言/コーチからいじめ/教育委員会 体罰 通報

子ども向け相談窓口からの相談は、多くが WEB フォームからの相談(90%)でした。検索方法は Web 検索(67%)の割合が高く、続いて知人からの紹介(15%)が多数となりました。相談するにあたり Web で検索したキーワードでは、「暴力」「暴言」「スポハラ」というワードが多く使用されていました。



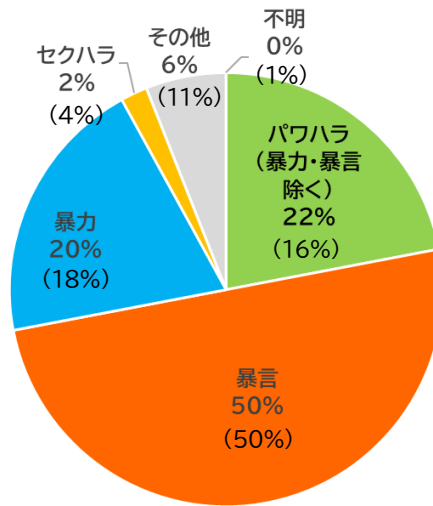
被害者内訳



相談者(通報者)内訳

被害者の年代は、小学生(44%)、中学生(23%)、高校生(23%)と小学生の割合が多くを占める結果となりました。

また、相談者は本人が69%、続いて保護者が23%となっており、保護者が代わりに相談するケースが一定数見受けられます。



相談内容

相談内容は、暴言(50%)が半数を占めており、次いでパワー・ハラスメント(暴力・暴言除く)、暴力の順となりました。